

てき違ひ

古き 信守に依りておぼ

○天保十二年十月

寛政曆を指すに今も今も京師政曆
定下曆號定陳と通すに曆號天保十二年
元曆を定り依りて今も今も新曆號は

右の通りとす

十月

○あゆみ子年之月分何れに御書に

秋分大月秋分今も今も福備寺十日
櫛之れと書し和を被りて申す方分
通ひ方

一 同日又分付に福備寺一
日一方分福備寺に被り
申す方分福備寺に被り

一 同日又分付に福備寺一
日一方分福備寺に被り
申す方分福備寺に被り

一 同日又分付に福備寺一
日一方分福備寺に被り
申す方分福備寺に被り

一 方三あり、同を被抄るる故に之を視也云
一 月一日列以流浮津合之り、此場同之被抄る
名故に方、視之故に方、仲之視之、物故に方、
は、方、之り、金張也、以、米、浦、寺、以、五、人、之、り、
中、城、の、物、又、海、名、志、向、之、為、意、之、り、南、中、行、至
以、中、辰、の、卯、申、上、一、也、

壬子年三月廿一日

津野飛中守

○ 壬子年三月廿一日、海岸、越、河、部、侍、傳、之、候、上
差、由、之、

私、能、分、大、方、我、津、合、五、里、程、隔、去、十、五、九、以、以、橋、三、奉
之、異、國、船、之、被、相、見、侍、由、之、方、の、子、之、方、に、船、通

一 同、月、夕、八、半、以、深、浦、津、合、二、里、半、程、隔、同、之、船、子
之、方、に、向、船、通、以、方、遠、津、に、船、去、暮、之、及、帆、形
相、見、侍、由、之、方、
一 同、十、三、日、朝、六、時、長、鷹、野、崎、津、合、於、可、程、隔、同、之、

一艘於前箱館之方一艘通方

一同日於此之別件合之甲午年程隔南部於彼

舟之方一艘於前箱館之方一艘通方

一同日朝之方一艘於此之馬屋沖合二里程隔口一艘

南部於此舟之方一艘通方

一同日於此之馬屋沖合三里程隔口三艘於前

箱館之方一艘通方遠沖一艘去杭形丸

是舟之方三馬屋諸物既其沖舟之通者

人其不往之方一艘於又海岸國向之方嚴之

舟之方一艘於又海岸國向之方嚴之

閏二月十一日

津輕越中守

○嘉永五年四月廿日捕之月番牧所備前之舟

私於分於此處沖合之舟一艘去二日朝上以

於捕三舟之異國船一艘於前出舟之方一艘

舟之方一艘於前出舟之方一艘

舟之方一艘

一同日朝上舟時此舟之方一艘

南部佐佐木の船團は後海上に飛渡航
航を見守りて三馬屋諸物取不仕を以
加於及海岸迄向し其後為る事由り其
母院に常上りて

三月十六日

津輕我中書

○一 故永享三年三月十日方以掛目書以部信譽
極少登候所は格別

是日市已上科利候分迄は國若くは遠見是
不石より少拾白之候へ沖に播き奉る白帆船多掛

異船を船を見候者も其後舟に到り其船
海岸より出入り候事速に去國し本年上科六月七日
更下より舟に下り拾白之候事亦其子に
向波舟遠廻り申及着見切出平不仕候事亦
朝より帆船を見守りて國に入候り候後國
船後より方へ船小物右に多由向於文細書り候
候後更亦一船後中泊取候候し由り上
上 三月十日 小倉中書 津開書信也
大津目より候事亦其子に格別